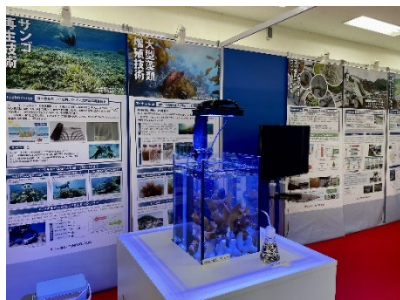


「藻場再生技術」「サンゴ再生技術」が C-Xross 建設技術展 2022 関東において「注目技術賞」「特別賞」を受賞

鹿島技術研究所葉山水域環境実験場にて開発した「藻場再生技術」と「サンゴ再生技術」が、日刊建設工業新聞社主催「Construction Xross2022 建設技術展 2022 関東」(2022年11月25日～12月28日開催)において「注目技術賞」および「特別賞」を受賞しました。

■藻場再生技術

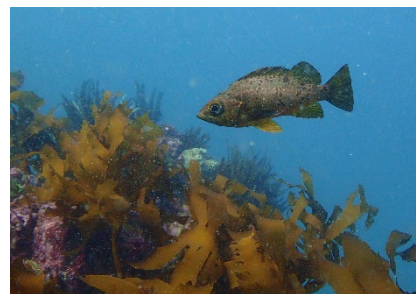
消失が危惧される大型海藻の配偶体(海藻のタネ)を長期間保存し、年間を通じて海藻の苗を量産し、藻場を再生する技術です。本技術は、海域の生物多様性の向上やブルーカーボンクレジットの創出に貢献しています。



C-Xross 建設技術展 2022 関東での展示の様子

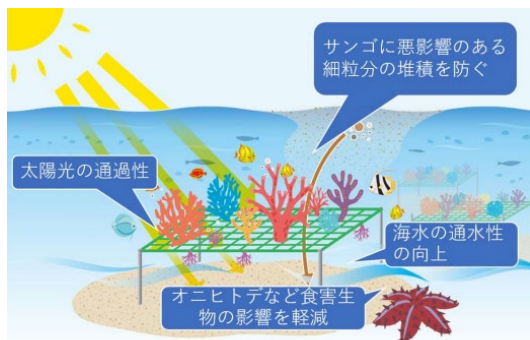


カジメの水槽と配偶体のフラスコ



再生中の藻場(神奈川県葉山沿岸)

■サンゴ再生技術



サンゴ人工基盤の仕組み



コーラルネット上で成長したサンゴ

網状構造のコーラルネット®は、サンゴの着生を妨げる細かな粒子の堆積を防ぎ、ウニやオニヒトデなどの外敵から守ります。コーラルネットの素材は、自然分解型と耐久型(ステンレス製)の2タイプがあり、設置する環境に応じて使い分けています。

(参考)

■消失が危惧される地域固有の大型海藻類を再生・保全 |)

■地球にやさしく！ サンゴ礁を蘇らせる

https://www.kajima.co.jp/tech/c_eco/ecosystem/index.html#!body_07